

## 同志社女子大学推薦入試現代文対策ライブ講座

### ○同志社女子大学の推薦入試現代文について（傾向と分析）

国語全体としては、それぞれ大問で現代文一問、古文一問（看護学科は古文のかわりに小問集合）の出題となっている、漢文は出題されない。

その中で現代文については、およそ3000〜4000字前後の本文に、漢字・語句・空所補充などの小問と、内容説明・理由説明・内容合致などの本文の内容、主旨を問う設問で構成されている。設問数は年度により多少の増減はあるものの、およそ二十問前後だと考えてよい。

総じて、無理のない出題であり、標準的な設問、良問揃いだという印象。

2020年度入試出題出典  
11月10日

（午前入試）岡田美智雄 「モノと者の間にあるもの―

ロボット研究から『モノ学』へのアプローチ」

※ロボット研究は、『モノ』と『物』の概念を理解すること、という文脈（午後入試）鳴海雅人 『人生は満たされつつある建築で溢れている』

※建築とは、その場所の物語性を作り上げることである、という文脈

試験時間は、2科目で90分英語との2科目受験を考えるなら、

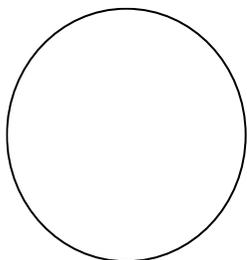
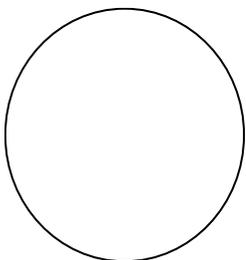
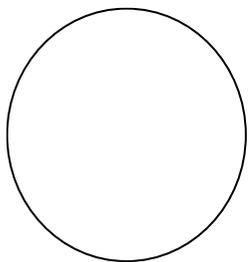
どちらにどれだけだけの時間を振り分けるかがきわめて重要な戦略となる

### （対策について）

文章自体の難易度はそこまで高いわけではないが、試験時間の制約がやや厳しただけに少し読み違いがあると一気に追い込まれてしまうので注意すべき。たとえば英語と国語の2科目受験の場合、英語の得意・不得意によって、国語にかけることのできる時間が大きく変わってくる。また、自分がどちらの科目でどの程度の得点が必要とするのか、を把握しておくことも重要だ。国語単体の試験問題についても、大問一・大問二にそれぞれ時間をいくらかけられるか、大問二との兼ね合い（古文が得意かどうかなど）を考慮した上で把握しておく必要がある。試験開始直後は読むスピードがやや遅くなることが多いため、過去問演習を通じて「解答にかかる時間の感覚」を掴んでおくことが必須であるとい

「読解力とは何か？」

「の構図を常にイメージする！」

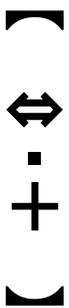


I 対比 ※対比して論を展開する効果を考えよう

対比



A



B

## Ⅱ 「主張のとりえ方」

### 一般論

⇨ 共通認識・常識・暗黙の了解・事実（現在の日本は豊かである。）

### 主張（一般論の否定）

⇨ （しかし、それはどうも違うように思われる。）

### 論証責任を負う

⇨ なぜなのか・どのようにしてか

（○○の調査によると・△△氏がその著作で・みなさんも薄々感じているのではないか e t c）

### 《 考え方 》

I 一般論必ず提示され（二項対立が成立）、基本的に否定される。

II 主張の多くは、「逆接」「推量や意思をあらわす助動詞」「反論への顧慮」をともなつて提示される。

III 論証責任は、まさに「説明問題」「理由を問う問題」として出題される。

### 一般論

⇨ ……………



### 筆者の主張



### 論証責任

⇨ ……………

### Ⅲ 「文章を読む力と選択肢を選ぶ力」

#### 選択肢を選ぶ力を身につける必要性

#### 得点力を支える『選ぶ力』

受験で頻出する選択肢のパターン

##### パターンⅠ

- ① 必ず勉強しなければならない
- ② 勉強をするべきである
- ③ 勉強しなければならないとは限らない
- ④ 勉強してはならない

##### パターンⅡ

- ① 無駄なものを買うべきではない
- ② おかねは大切に使うべきである
- ③ ほしいものは無駄に思えても買うべきだ
- ④ ほしいだけでは買う理由にはならない

##### パターンⅢ

- ① それは社会の病理である
- ② それは社会の病理であり、希望でもある
- ③ それは社会の病理であり、希望であるが、現実ではない

※ 選択肢間で、いったい何が違うのかを意識するようにしたい

☆ウソの選択肢を構成するパターン(超重要) 選択肢の『感覚』を磨け！

「文脈違反型」……

「付加限定型」……

「解釈要求型」……

「意味不明型」……

一 次の文章を読んで後の問に答えなさい。

7 「社会の開明度はその監獄に入ってみればわかる」(フョードル・ドストエフスキー「ロシア、一八二二—一八二一」とはいうものの、入獄中の体験というのは入ってみなければわからない部分が多いのはまちがいない。想像するほかに手立てはなさそうだが、わたしは、刑務所設計を通してその「内側」から社会を見通してみたいと思う。

刑務所建築は、当初は身体刑に代わる「監視」あるいは「コウソク」という刑を重視するための機能が必要だったと考えられる。(中略)

空間のタイプも時代によって変化し、櫛型・中庭囲い込み型に始まり、現在は「放射状型」が西欧一般では主流になった。「放射状型」の監獄は、中心部に監視塔が置かれ、そこを中心に円形状に独房が配置されている。そして監視塔側に光が入るため、囚人からは監視員が見えず、逆に監視員は囚人を観察できる仕組みになっている。囚人に規律化された I な身体を形成させるのがねらいである。

そして、社会の成熟とともに、少しずつ、人權や個の空間の質の向上へと動いていく。現代に近づくにつれて、刑務所の独房は個室が基準になり、一人ひとりに合った施設と処遇を与えるように制度化されていった経緯がある。

アメリカを中心に、複数の長方形の建築が並列する「パビリオン型」も多く造られ、その後、ユニット形式の「キャンパス型」も現れた。

日本では、アメリカの占領軍の影響を受けたものが多いが、小菅刑務所(蒲原重雄設計、一九二九年)は、大正期の表現主義の最後を飾るもので、ツバサを広げて空に舞い上がる大鳥をイメージしているという。二重に羽を広げたような時計塔をもつ管理棟を中心に据え、奥には放射状に監房が配置されている。国内のパビリオン型は、長野刑務所をはじめとして七つある。

西日本方面の三つの刑務所の設計に関わったことで、刑務所と社会との密接なつながりの実態が見えてきた。福岡県内の拘置所、兵庫県の刑務所、山口県の刑務所には似かよったアーキテクトタイプ III がある。

それは、いわゆるホテル型といっても過言ではない。空間構成は都市型シティホテル並みであり、異なる点は、内部環境のアーカイブと、扉や格子などのハードなセキユリテイ、A、電子的でソフトなセキユリテイである。同じ窓守法であっても光環境や空気質環境の面では、独特な II 的な空気感をもっていることがあげられる。

現代では、刑務所はよく「治安の最後の砦」といわれる。

つまり、刑務所は、警察から始まり検察・裁判と経由したよりすぐりの犯罪者がたどり着く最後の場所だという意味で、だろう。刑務所がホウカイしたのは刑罰の執行が III されなくなり、日本の治安は維持できないという側面もある。

このように刑務所は、その国の治安状況や刑事政策、犯罪対策の結果を象徴していて、刑務所を見ればその国の治安がわかるということでもある。

さらにいえば、「その国の文化水準は刑務所を見ればわかる」ということだ。

B、犯罪者という社会から疎外されやすい人間に対する取り扱いを見れば、その国の人間観や人権意識がわかるということである。犯罪者をどのように扱うのかを見ることによって、その人を社会から排除するのか、C、なんらかのハンディキャップをもった者として受け入れ、社会復帰のための援助をしようとするのか、その社会の寛容度のバロメーター的役割を刑務所は担っているのだ。

いずれにせよ、刑務所は社会と密接なつながりをもっているものであり、刑務所を通してはじめて見えてくる社会の実態というものも存在する。刑務所は多くの人間が生活する生きた社会である。構成メンバーは受刑者だけではない。そこで働く刑務官をはじめ、刑務作業を通じて出入りする民間企業の社員、ボランティアもいる。

また日本では無期刑はあるが終身刑は存在しないので、受刑者は、原則として判決後刑務所で一定期間を過ごし再び社会に戻ることになる。すなわち刑務所は犯罪者のハカバではなく、社会の一部であり、一時的に受刑者という身分になった人間が生活する場所なのだ。当たり前のことだが、刑務所は生きた人間が暮らす場所にはかならない。

問題は、日本の刑務所のはほとんどは定員を超えて収容する、いわゆる「過剰収容」状態にあることだ。

受刑者の平均収容率は約一二〇パーセントで、約九〇パーセントの刑務所で過剰収容状態が発生している。当然、「保育園の待機児童」のようなわけにはいかず、彼らを「待機」させることはありえない。D、病気になることからといって外に出すわけにもいかない。このことは刑務所理解の最も重要な視点である。つまり、受刑者はもちろん刑務官も、ある意味では

建築でさえも「最後のよりどころ」なのである。

最近では「治安の最後の砦」ではなく、受刑者の高齢化が進んでいることから「福祉の最後の砦」にもなってきた。

刑務所は受刑者を拒否できない。どのような受刑者であっても、正式に釈放の日を迎えるか、または死亡するかするまでは面倒を見続けるほかないのである。

場所はカクサンしているが、入れ子状の社会の構成を表しているのだ。

わたしもそうだが、一般の人々は、犯罪者に対してふたつの相反する感情を抱いている。一方が人道的な関心と囚人矯正の試みであり、もう一方が司法制度への苛立ちと、刑務所をより不快なものにしよう、という考え方だ。

これらは交互に現れたり、ときには同時に存在する。それらの相反する態度は、刑務所建築の目的に大きな影響を与えるが、近い将来に矛盾が解決されるとは思わない。また、より多くの囚人たちを矯正できる方法もすぐには見つかりそうもない。当面、刑務所建築は、現状を少しでも改善する方向を **N** するだろう。優れた刑務所建築を造るために、我々建築家は何ができるだろうか。その答えは簡単ではなく、時代とともに変わっていくほかはないのかもしれない。

建築内の集団生活で生じる心理的影響をよく理解することが重要であり、そのために刑務官や受刑者の意見を聞くことも必要である。また両者の身体的・心理的リスクを最小限にする空間を造ることも求められる。脱獄予防という制限のなかで、ストレスを与えずに優しい素材感や、アースカラーなどの癒しの色使い、心が落ち着くスペース、高齢者に優しいユニバーサルデザインを採用することで、 **V** 的な環境に配慮する。また、センサーや監視カメラなどの高度な技術革新も後押しする。学校やビジネスホテル並みのしつらえになることもある。

優れた刑務所建築は難しい。成熟に向かっていることはまちがいないが、現在すばらしいと評価されている最新の刑務所建築でも、その真価は、利用と経験によってだけ明らかになる。

(鳴海雅人「人生は満たされつつある建築で溢れている」より。ただし本文の一部を改めた。)

(注) アーキテクトタイプ——建築物の種類・類型。

問一 傍線部 a・e と同じ漢字を使うものをそれぞれ次の中から選び、番号で答えなさい。

解答番号は a 1・b 2・c 3・d 4・e 5。

- |   |   |      |   |            |   |             |   |               |
|---|---|------|---|------------|---|-------------|---|---------------|
| 1 | a | コウソク | 1 | 食糧がフソクする   | 2 | 開発をソクシンする   | 3 | 提案をソクダクする     |
| 2 | b | ツバサ  | 4 | 土地をソクリヨウする | 5 | 晴れの日のショウソク  | 3 | 闘いのイチヨクを担う    |
| 3 | c | ホウカイ | 4 | ヨクジツに再訪する  | 5 | ニッコウヨクを勤める  | 3 | ゲンカイの世代       |
| 4 | d | ハカバ  | 4 | 都市がカイメツする  | 2 | カイキユウの念にひたる | 3 | 我が師をケイボする     |
| 5 | e | カクサン | 4 | カイゴの念にとられる | 5 | ジカイを込めて忠告する | 3 | 組織のチュウカクで活躍する |
|   |   |      | 4 | 従業員をキユウボする | 5 | 失言してボケツを担る  |   |               |
|   |   |      | 4 | ボシともに健康だ   | 5 | チョウボをつける    |   |               |
|   |   |      | 4 | 図面をカクダイする  | 5 | 兄弟間のカクシツを解く |   |               |
|   |   |      | 4 | 氷山のイッカク    | 5 | 魚のランカクを禁止する |   |               |

問二 波線部の語句は、文脈上、どのような意味か。最も適切なものを次の中から選び、番号で答えなさい。

解答番号は 6。

パラメーター

- |   |        |   |        |   |        |
|---|--------|---|--------|---|--------|
| 1 | 理想的水準  | 2 | 可能性の範囲 | 3 | 判断する指標 |
| 4 | 典型的な形式 | 5 | 測定の方法  |   |        |

問三 空欄 A～D に入る語句として最も適切なものをそれぞれ次の中から選び、番号で答えなさい。ただし、同じものを重複し

- て用いることはできない。解答番号は A 7・B 8・C 9・D 10。
- |   |      |   |     |   |     |   |    |   |      |   |      |
|---|------|---|-----|---|-----|---|----|---|------|---|------|
| 1 | ところか | 2 | つまり | 3 | だから | 4 | また | 5 | もちろん | 6 | それとも |
|---|------|---|-----|---|-----|---|----|---|------|---|------|

問四 空欄 I～V に入る語句として最も適切なものをそれぞれ次の中から選び、番号で答えなさい。

解答番号は I 11・II 12・III 13・IV 14・V 15。

- |    |   |   |    |   |    |   |    |   |    |   |    |
|----|---|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
| 11 | I | 1 | 頑強 | 2 | 健康 | 3 | 脆弱 | 4 | 従順 | 5 | 柔軟 |
|----|---|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|

12	Ⅱ ① 一義	② 因習	③ 蓋然	④ 閉塞	⑤ 逆説
13	Ⅲ ① 担保	② 拘泥	③ 補償	④ 猶予	⑤ 留保
14	Ⅳ ① 鑄造	② 模索	③ 即決	④ 放棄	⑤ 英断
15	V ① 画一	② 本質	③ 普遍	④ 革新	⑤ 人道

問五 傍線部A「社会の開明度はその監獄に入ってみればわかる」とあるが、どういうことか。その説明として最も適切なものを次の中から選び、番号で答えなさい。解答番号は **16**。

① 現代の刑務所では、西欧一般で主流となった「放射状型」の施設が普及し、囚人の処遇が大きく改善されたことなど、刑務所に入ること初めて社会の成熟度が見えてくることがあるということ。

② アメリカの「パビリオン型」の刑務所の建築様式のように、刑務所の内部に入ると、人権や個の空間の質の向上など、囚人の扱い方の意識の向上が実感できるということ。

③ 社会から疎外されやすい犯罪者に対する刑務所での待遇が、その国や社会の人間観や人権意識、寛容度を如実に反映しているということ。

④ 刑務所とは無縁の一般社会の人々が、いかに犯罪者に対する差別意識や偏見を持っているかを、刑務所に入ってはじめて痛感するということ。

⑤ 入れ子状の社会の構成を表している刑務所は、人間の本性が最もむき出しになる場所であり、したがって、社会の本質が最も明瞭に観察される場所であるということ。

問六 傍線部I「現在すばらしいと評価されている最新の刑務所建築でも、その真価は、利用と経験によってだけ明らかになる。」とあるが、なぜか。その理由として最も適切なものを次の中から選び、番号で答えなさい。解答番号は **17**。

① 刑務所建築が成熟に向かっている、刑務所内部での集団生活で生じる心理的影響やリスクの軽減についての評価は難しく、今後の使用による実際の検証を待つしかないから。

② 受刑者、刑務官、出入りする民間企業の社員、ボランティアなど多くの人間が刑務所の構成メンバーで、それぞれに固有の立場と役割、思惑があるが、それは経験と検証によってしか明らかにならないから。

③ 脱獄予防という制約を超えて、優しい素材感や癒しの色使い、ユニバーサルデザインの採用といった多種多様な試みが有効かどうか、未だ検証されていないから。

④ 多くの刑務所で過剰収容状態が続いているという現実が、受刑者や刑務官など、刑務所内部の人びとにどのような影響を与えているかは、外部からはうかがい知れないものがあるから。

⑤ 最新の設備を誇る刑務所建築であっても、犯罪者という社会から疎外されやすい人間を庇護する場として適当かどうかは、受刑者本人にしかわからないから。

問七 本文の内容と合致する記述として最も適切なものを次の中から選び、番号で答えなさい。解答番号は **18**。

① 西欧一般で主流になった「放射状型」の監獄には、囚人に規律化された身体を形成させるという副次的な効果が認められた。

② アメリカと同様に日本でも、長野刑務所をはじめとして複数の長方形の建築が並列する「パビリオン型」刑務所が最も多い。

③ 日本の刑務所の空間構成は、ビジネスホテル並みのしつらえから、都市型シティホテル並みのしつらえへと変化しつつある。

④ 刑務所とは一時的に受刑者という身分になった人間が生活する場所なのだという認識が、多くの日本人からは欠落している。

⑤ 刑務所を充実させたい感情と刑務所をいつそう不快なものにしたい感情という相反する感情は、刑務所建築の目的に影響を与える。

問八 本文の表現の特徴として適切なものを次の中から二つ選び、番号で答えなさい。解答番号は **19**、**20**。

① 優れた刑務所建築がどれほど難しいものか、筆者自身の苦勞を詳細に報告して率直に心情を吐露している。

② 一般には思い描きにくい刑務所の様子を「ビジネスホテル」などの言葉を使うことで理解しやすくしている。

③ 受刑者の高齢化が進んで刑務所が「福祉の最後の砦」となっている現状を嘆き、やや感情的に告発している。

④ 建築家として刑務所に関わりながらも受刑者への相反する感情が増大する葛藤を、ありのまま描き出している。

- ⑤ 刑務所の描写に比喩表現を用いることで、論理性に富む文章に詩的な味わいを添えることに成功している。
- ⑥ 社会に実在する刑務所の具体的な事例を多く挙げることによって、筆者の主張に説得力を与えている。